

# 塩谷・長橋地区 ブロック別学校再編プランの 検討のために

この資料は、地区別懇談会で参加者間の活発な意見交換ができるようにという観点で作成したものです。

## ブロックの概要

### 町名

蘭島、忍路、桃内、塩谷、オタモイ、幸、長橋、旭町

### 通学区域から見た現在の学校配置

小学校 忍路中央小学校、塩谷小学校、幸小学校、長橋小学校  
中学校 忍路中学校、塩谷中学校、長橋中学校

塩谷・長橋地区ブロックの町別学齢人口（27年度推計）

(人)

	小学生							中学生			
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	小計	1年生	2年生	3年生	小計
蘭島	2	6	1	3	8	5	25	6	6	3	15
忍路	2	4	3	1	0	2	12	1	2	2	5
桃内	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
塩谷	12	14	17	21	13	21	98	29	16	21	66
オタモイ	23	20	23	22	23	24	135	31	26	26	83
幸	17	35	31	32	36	40	191	39	47	36	122
長橋	46	37	45	42	33	53	256	62	54	53	169
旭町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	103	116	120	121	113	145	718	168	151	141	460

小樽市小中学校再編計画では、学校再編に当たっては次のとおりに進めるとしました。(抜粋)

- ◆ 統合の時期は、学校施設の状況、対象校の位置関係、統合前の児童生徒の交流期間等を総合的に考慮し、地区実施計画を策定し決めていきます。その際、同一地区内で、段階的な実施となる場合は、児童生徒が統廃合を繰り返して経験することのないような間隔とします。
- ◆ 統合学校は、原則として、既存の学校敷地、校舎を活用していくこととし、校舎が近年、改修・建て替えをしている場合を除き、大規模改修・建て替え時に合わせた施設設備の充実を図ることを基本とします。
- ◆ 統合学校の場所は、統合後の通学区域内のバランスと、校地・校舎の状況や通学上の安全などの条件を勘案して決定します。その際には、交通の利便性や冬期における周辺の除雪体制など、学校立地の条件としてより良好な環境であるかの観点も考慮します。
- ◆ 特別支援学級などについては、統合する時点での学級を確保し、統合学校に引き続き設置します。また、支援を必要とする児童生徒が新たに入学する場合は、原則として再編後の校区内の学校に就学できるよう配慮します。
- ◆ 学校再編に伴い、在学中に統合することになる学校への入学予定者については、再編後の新たな通学区域や通学距離を考慮した特例を、また、統合の時点での在學生についても、交友関係や通学距離などを考慮した特例を設け、指定校変更の承認をするなど学校指定に関する弾力的な運用を行います。

## 小学校の概要

各項目の数値は平成 21 年度現在のものです。

		忍路中央小学校	塩谷小学校	幸小学校	長橋小学校
学校の規模等					
児童数	通常	35 人	135 人	303 人	382 人
	補助	-	1 人	-	4 人
学級数	通常	4 学級	6 学級	12 学級	12 学級
	補助	-	1 学級	-	3 学級
開校年月		明治 7 年 12 月	明治 9 年 9 月	昭和 47 年 3 月	大正 12 年 12 月
学校施設					
現校舎の建築年 (面積)	昭 55 (2116 m <sup>2</sup> )	昭 53 (1190 m <sup>2</sup> )	昭 47 (3002 m <sup>2</sup> ) 昭 51 ( 882 m <sup>2</sup> ) 昭 54 ( 702 m <sup>2</sup> )	昭 53 (1888 m <sup>2</sup> ) 昭 54 (3040 m <sup>2</sup> )	
		昭 58 ( 912 m <sup>2</sup> )			
		昭 59 (1274 m <sup>2</sup> )			
		昭 61 (1240 m <sup>2</sup> )			
耐震化優先度 (校舎)		④-2	③-2	③-1、③-2	平成 22 年度耐震補強工事実施
保有教室の内訳 (普通教室には学級増で転用想定も含む)	普通 6 教室	普通 13 教室	普通 15 教室	普通 18 教室	
	特別 5 教室	特別 9 教室	特別 10 教室	特別 9 教室	
体育館面積 m <sup>2</sup>		604 m <sup>2</sup>	999 m <sup>2</sup>	745 m <sup>2</sup>	886 m <sup>2</sup>
グラウンド実面積 m <sup>2</sup>		3,800 m <sup>2</sup>	6,000 m <sup>2</sup>	7,700 m <sup>2</sup>	5,400 m <sup>2</sup>
通学環境					
隣接校との距離 (km)		塩谷小 (5.5)	忍路中央小 (5.5) 長橋小 (4.9)	長橋小 (1.8)	幸小 (1.8) 手宮西小 (1.6) 色内小 (2.2) 塩谷小 (4.9)
在校生の最長通学距離 (km)		桃内 1 (2.9)	塩谷 3 (2.1)	幸 2 (1.2)	オタモイ 3 (3.3)
最寄りのバス停		忍路小学校 (140m)	塩谷小学校下 (230m)	幸小学校 (100m)	長橋小学校 (100m)
通学时バス利用者		1 人	3 人		110 人
進学する中学校		忍路中	塩谷中	長橋中	長橋中
その他					
ブロック内他校と比較した特記事項		複式編制		プール設置	

## 中学校の概要

各項目の数値は平成 21 年度現在のものです。

		忍路中学校	塩谷中学校	長橋中学校
学校の規模等				
生徒数	通常	15 人	50 人	372 人
	特別支援	—	—	1 人
学級数	通常	2 学級	3 学級	11 学級
	特別支援	—	—	1 学級
開校年月		昭和 22 年 5 月	昭和 22 年 5 月	大正 14 年 4 月
学校施設				
現校舎の建築年 (面積)		昭 36 ( 205 m <sup>2</sup> )	昭 37 ( 255 m <sup>2</sup> )	昭 47 (4710 m <sup>2</sup> )
		昭 42 ( 292 m <sup>2</sup> )	昭 49 (1752 m <sup>2</sup> )	昭 52 ( 401 m <sup>2</sup> )
		昭 49 (1626 m <sup>2</sup> )	昭 59 (1174 m <sup>2</sup> )	昭 57 ( 283 m <sup>2</sup> )
耐震化優先度 (校舎)		④-1	④-2	平成 23 年度耐震補強 工事予定
保有教室の内訳 (普通教室には学級 増で転用想定も含む)	普通	3 教室	6 教室	17 教室
	特別	8 教室	10 教室	17 教室
体育館面積 m <sup>2</sup>		621 m <sup>2</sup>	618 m <sup>2</sup>	1,343 m <sup>2</sup>
グラウンド実面積 m <sup>2</sup>		7,200 m <sup>2</sup>	5,000 m <sup>2</sup>	11,000 m <sup>2</sup>
通学環境				
隣接校との距離 (km)		塩谷中 (5.0)	忍路中 (5.0) 長橋中 (5.3)	塩谷中 (5.3) 西陵中 (3.7) 末広中 (4.3)
在校生の最長通 学距離 (km)		桃内 1 (3.2)	塩谷 1 (4.0)	オタモイ 3 (2.2)
最寄りのバス停		忍路小学校 (350m)	塩谷文庫歌 (550m)	長橋中学校 (190m)
通学時バス利用者			3 人	
校区の小学校		忍路中央小	塩谷小	幸小、長橋小
その他				
ブロック内他校と 比較した特記事項		複式編制		プール設置

## 統合の組合せの考え方

すべての小中学校が再編の対象となり、学校再編計画で示したこのブロックの想定学校数は小学校2校、中学校1校です。

ブロック内には小学校が4校ありますが、現在の小学校の校区で隣接する忍路中央小学校と塩谷小学校の児童数から、この2校だけの組合せでは、全学年が1学級のままで推移します。そのため両校を含んだ3校の組合せと別の1校によるグループ分けとなります。

また、このブロックは、地理的に広域であることから、現状でも幸小学校と忍路中学校以外の学校では、校区内でバス通学利用者がいます。さらに、隣接する校区の関係でも、忍路中央小学校付近と塩谷小学校付近、長橋小学校付近の3地区間でもそれぞれ5km程度の距離がありますので、徒歩とバス利用の併用を考えた組合せとし、中学校は小学校の新しい2つの校区を合わせた校区とします。

以上の観点から、それぞれの校区をベースにして新しい通学区域（AグループとBグループ）と統合校の位置を検討したプランとパターンを示します。



# 小学校のプラン1

現在の校区をもとにした、Aグループ（3校）とBグループ（幸小）の組合せ

組合せグループ	新しい通学区域	統合校の位置	パターン
Aグループ	忍路中央小、塩谷小、長橋小の校区全域	現在の忍路中央小	①
		現在の塩谷小	②
		現在の長橋小	③
Bグループ	幸小の校区全域	現在の幸小	④

パターン	27年度児童数と学級数の推計	最遠地点からの概算距離（主要道路経由）	大きな改修の必要性
A <sub>グループ</sub> -①（忍路中央小）	421人 14学級	長橋3 11.3km	耐震化工事、増築工事
A <sub>グループ</sub> -②（塩谷小）		蘭島1 6.7km	耐震化工事、増築工事
A <sub>グループ</sub> -③（長橋小）		蘭島1 11.4km	耐震化工事（22年度実施）
B <sub>グループ</sub> -④（幸小）	239人 10学級	幸2 1.0km	耐震化工事

プラン1の場合の27年度推計学年別内訳

(人)

プラン1		1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
Aグループ	児童数	72	64	65	77	55	88	421
	学級数	3	2	2	2	2	3	14
Bグループ	児童数	22	45	43	37	47	45	239
	学級数	1	2	2	1	2	2	10



## 小学校のプラン2

現在の校区をもとにした、Aグループ（3校）とBグループ（長橋小）の組合せ

組合せグループ	新しい通学区域	統合校の位置	パターン
Aグループ	忍路中央小、塩谷小、幸小の校区全域	現在の忍路中央小	⑤
		現在の塩谷小	⑥
		現在の幸小	⑦
Bグループ	長橋小の校区全域	現在の長橋小	⑧

パターン	27年度児童数と学級数の推計	最遠地点からの概算距離（主要道路経由）	大きな改修の必要性
A <sub>グループ</sub> -⑤（忍路中央小）	370人 11学級	幸3 10.2km	耐震化工事、増築工事
A <sub>グループ</sub> -⑥（塩谷小）		蘭島1 6.7km	耐震化工事
A <sub>グループ</sub> -⑦（幸小）		蘭島1 11.0km	耐震化工事
B <sub>グループ</sub> -⑧（長橋小）	290人 11学級	オタモイ3 3.1km	耐震化工事（22年度実施）

プラン2の場合の27年度推計学年別内訳

(人)

プラン2		1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
Aグループ	児童数	38	68	63	61	68	72	370
	学級数	1	2	2	2	2	2	11
Bグループ	児童数	56	41	45	53	34	61	290
	学級数	2	2	2	2	1	2	11

## 小学校のプラン3

Aグループ（3校）とBグループ（幸小）の組合せを基本にしながら、国道海側のオタモイ3丁目ほかを長橋小から幸小に編入

組合せグループ	新しい通学区域	統合校の位置	パターン
Aグループ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 忍路中央小、塩谷小の校区全域</li> <li>・ オタモイ1丁目、オタモイ3丁目を除いた長橋小校区の大部分</li> </ul>	現在の忍路中央小	⑨
		現在の塩谷小	⑩
		現在の長橋小	⑪
Bグループ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幸小の校区全域</li> <li>・ 長橋小校区の内のオタモイ1丁目、オタモイ3丁目</li> </ul>	現在の幸小	⑫

パターン	27年度児童数と学級数の推計	最遠地点からの概算距離（主要道路経由）	大きな改修の必要性
A <sub>グループ</sub> -⑨（忍路中央小）	362人 12学級	長橋3 11.3km	耐震化工事、増築工事
A <sub>グループ</sub> -⑩（塩谷小）		蘭島1 6.7km	耐震化工事
A <sub>グループ</sub> -⑪（長橋小）		蘭島1 11.4km	耐震化工事（22年度実施）
B <sub>グループ</sub> -⑫（幸小）	298人 11学級	オタモイ3 2.6km	耐震化工事

プラン3の場合の27年度推計学年別内訳

(人)

プラン3		1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
Aグループ	児童数	59	56	57	66	46	78	362
	学級数	2	2	2	2	2	2	12
Bグループ	児童数	35	53	51	48	56	55	298
	学級数	1	2	2	2	2	2	11

## 小学校のプラン4

Aグループ（3校）とBグループ（幸小）の組合せとしたプラン1を基本にしながら、長橋1丁目、2丁目で東側の色内小学校の校区となっている地区を長橋小に編入

組合せグループ	新しい通学区域	統合校の位置	パターン
Aグループ	<ul style="list-style-type: none"> <li>忍路中央小、塩谷小、長橋小の校区全域</li> <li>色内小校区の内の長橋1丁目、長橋2丁目</li> </ul>	現在の忍路中央小	⑬
		現在の塩谷小	⑭
		現在の長橋小	⑮
Bグループ (プラン1と同じ)	幸小の校区全域	現在の幸小	④

パターン	27年度児童数と学級数の推計	最遠地点からの概算距離（主要道路経由）	大きな改修の必要性
A <sub>グル</sub> -⑬（忍路中央小）	475人 16学級	長橋1 12.0km	耐震化工事、増築工事
A <sub>グル</sub> -⑭（塩谷小）		蘭島1 6.7km	耐震化工事、増築工事
A <sub>グル</sub> -⑮（長橋小）		蘭島1 11.4km	耐震化工事（22年度実施）
B <sub>グル</sub> -④（幸小）	239人 10学級	幸2 1.0km	耐震化工事

プラン4の場合の27年度推計学年別内訳

(人)

プラン4		1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
Aグループ	児童数	81	71	76	83	65	99	475
	学級数	3	3	2	3	2	3	16
Bグループ (プラン1と同じ)	児童数	22	45	43	37	47	45	239
	学級数	1	2	2	1	2	2	10

## 中学校のプラン1

現在の3校の校区をもとにした場合  
の新しい通学区域  
(小学校のプラン1からプラン3ま  
でに対応)

	新しい通学区域	統合校の位置	パターン
統合新校	忍路中、塩谷中、長橋中の校区全域	現在の忍路中	①
		現在の塩谷中	②
		現在の長橋中	③

パターン	27年度生徒数 と学級数の推計	最遠地点からの概算距離 (主要道路経由)	大きな改修の必要性
①(忍路中)	426人 13学級	長橋3 12.2km	耐震化工事、増築工事
②(塩谷中)		蘭島1 6.0km	耐震化工事、増築工事
③(長橋中)		蘭島1 10.5km	耐震化工事(23年度予定)

中学校プラン1の場合の27年度推計学年別内訳

(人)

プラン1		1年	2年	3年	計
統合新校	生徒数	155	137	134	426
	学級数	5	4	4	13

## 中学校のプラン2

現在の3校の校区に現西陵中校区の一部（長橋1、2丁目）を加えた場合の新しい通学区域  
（小学校のプラン4に対応）

	新しい通学区域	統合校の位置	パターン
統合新校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 忍路中、塩谷中、長橋中の校区全域</li> <li>・ 西陵中校区の内の長橋1丁目、2丁目</li> </ul>	現在の忍路中	④
		現在の塩谷中	⑤
		現在の長橋中	⑥

パターン	27年度生徒数と学級数の推計	最遠地点からの概算距離 (主要道路経由)	大きな改修の必要性
④ (忍路中)	458人 13学級	長橋3 12.2km	耐震化工事、増築工事
⑤ (塩谷中)		蘭島1 6.0km	耐震化工事、増築工事
⑥ (長橋中)		蘭島1 10.5km	耐震化工事 (23年度予定)

中学校プラン2の場合の27年度推計学年別内訳

(人)

プラン2		1年	2年	3年	計
統合新校	生徒数	167	151	140	458
	学級数	5	4	4	13

## プランとパターンから見た場合の検討結果

### 小学校

- ◆ プラン 1 からプラン 3 までは、ブロック内の 4 校の校区の範囲の中で組合せたもので、統合校の位置が西寄りを A グループ、東寄りを B グループとしています。統合校の位置をどこにするかによって、A グループでは①～③、⑤～⑦、⑨～⑪の 9 パターンを考え、B グループでは④⑧⑫の 3 パターンを考えています。
- ◆ プラン 4 では、このブロックに隣接する色内小学校の校区の一部を編入し、長橋全域を A グループに含めた想定で、⑬～⑮の 3 パターンを考えています。
- ◆ 中学校の校舎を小学校の統合校に活用すること（校種転換）については、このブロック内の忍路中、塩谷中、長橋中の立地場所は、小学校に比較的近接していますので、このブロックでは検討のパターンには入れていません。

.....

- ◆ プランごとの比較では、いずれのプランでも、A B 両グループの統合校双方が 1 2 学級以上の編成とはなりません、おおむね 1 0 学級以上です。

学校規模等の比較		プラン 1	プラン 2	プラン 3	プラン 4
A グループ	児童数(人)	421	370	362	475
	学級数(級)	14	11	12	16
	クラス平均人数	30.1	33.6	30.2	29.7
B グループ (B 校)	児童数(人)	239	290	298	239
	学級数(級)	10	11	11	10
	クラス平均人数	23.9	26.4	27.1	23.9

- ◆ 学校施設の面では、忍路中央小学校と塩谷小学校は、校舎や保有教室数の面から耐震化と増築工事が必要なことなど一定の制約が生じます。幸小学校と長橋小学校は、耐震化工事は必要ですが、現状の施設で各プランの再編後も収容できる教室数が確保できます。
- ◆ 通学区域の面からは、広域となるこのブロックの通学区域を想定すれば、現状の通学支援策として採用しているスクールバスの運行を拡大すること等を検討したうえで、統合校の位置は、児童の居住分布から長橋小学校あるいは幸小学校とすることが適切です。

---

---

## 中学校

- ◆ 統合校の学校規模は、プラン1では426人、13学級。1学級当たりの平均人数は32.8人。プラン2では458人、13学級。1学級当たりの平均人数は35.2人。
- ◆ 通学区域は、小学校の長橋1・2丁目のエリアの通学区域の設定に合わせる必要があるため、2つのプランを準備しています。
- ◆ 中学校の統合校の位置は、3校の中間となる塩谷中学校の選択肢も考えられますが、保有教室数や敷地面積、さらには学校プール設置等の学校施設の面で長橋中学校が塩谷中学校より優位です。さらに、生徒の居住分布も考慮するならば、プラン1及びプラン2において現在の長橋中学校校舎を利用することが適切です。その際には、現在の忍路中学校と塩谷中学校の校区からはバスによる通学となります。

---

---

小学校のプラン4と中学校のプラン2を選択する場合は、「中央・山手地区ブロック」で現在の色内小学校と西陵中学校の校区変更を伴いますので、同ブロックの学校再編との調整が必要です。